

事務事業名	地域支え合い活動推進補助事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	25 終了		
H29作成課等名	福祉課	H29係等名	地域福祉係	H28担当課等名 福祉課				
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	施策	33	共に支えあう地域福祉の推進					
目的	対象(誰・何を)	市内の地区(まちづくり委員会)の数 補助金支出先:飯田市社会福祉協議会		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	地域住民が、地域の中の福祉課題を発見し、地区を中心に福祉活動が活発に行われる			市内の地区数(まちづくり委員会)		20	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が共に日常生活を支え合う						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	実施された福祉活動数		60	50	60	55	
	成果指標	福祉活動によって設置されたふれあいサロン数		100	116	120	121	
	定性目標							
事業概要	<p>地域福祉計画策定事業にて行っていた災害時助け合いマップに対する取り組みと、小地域福祉活動補助事業にて行っていた小地域福祉活動推進事業を統合し、新たに地域支え合い活動推進事業とした。災害時助け合いマップでは、災害時での活用には繋がらないため、住民支え合いマップと名称を改め、日常の支え合いに活用できるマップとして地域で取り組んでもらえるように働きかけてきた。地域内の繋がり等を再確認する住民支え合いマップや、住民同士が互いの顔がわかる小地域において課題となっている事柄に対して、地域の力で解決に向けて取り組むことに助成を行い、地域の支え合いを推進する。マップ策定や具体的メニューを提示することで、課題に対する地域の取り組みを促し、また、課題とは感じていても取り組みが難しい場合には、取り組みの立ち上げを支援する。地域により違いがある福祉課題に対して、地域の関心が高い分野に係る研修会をブロック単位で開催し、地域福祉力の向上を図る。平成24・25年度に地域福祉懇談会を20地区で実施し、地区内での福祉課題についての懇談を行った。課題認識から地域での支え合いにつながるように助成していく。</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	<p>1 地域の力で課題解決に向けて取り組むことに対して助成を行う。地域福祉活動・ふれあいサロンの運営について、地域に働きかける。 (1)住民支えあい(災害時助け合い)マップの策定・見直し (2)見守り・支え合い事業 (3)地域が運営するふれあいサロン 2 地域課題に係る地域福祉力向上に資する研修会の開催</p>			<p>1 地域福祉の取り組み  (1)マップ策定・見直し (2)見守り・支え合い事業 (3)ふれあいサロン 2 研修会開催数</p>		<p>1  (1)16地区 (2)7地区 (3)121箇所 2 1回</p>		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		3,530	3,530	3,530	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		3,530	3,530	3,530				
人件費計(千円)②		358	0	0	0			
正規職員所要時間		100						
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		3,888	3,530	3,530	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成24・25年度において、飯田市社会福祉協議会の協力により、地域福祉懇談会を20地区開催し、地区との地域福祉課題についての共通認識を図った。平成26・27年度は健康福祉委員会を中心に地域福祉活動学習会を開催し、地域での支え合いを推進している。							
改革改善の考え方	①問題点	どの地区でも、ごみ出し・買い物・移動について支援を必要とする人がいる。						
	②改革提案	地区ごとに違う地域福祉課題に対して、地区内での支え合いの取り組みを推進し、助成していく。平成28年度までに策定する地域福祉計画・地域福祉活動計画により、地域の実践活動に繋げていく。						